

柔道しずおか

—国体総集号—

平成15年12月6日 静岡県柔道協会 発行

事務局 〒431-0302 静岡県浜名郡新居町新居3035-6 石黒金次 TEL・FAX (053) 594-2403
広報委員会 〒420-0001 静岡市井宮町149 望月秋男 TEL・FAX (054) 271-5282



2003

The 58th National Sports Festival

NEW!! WAKAFUJI KOKUTAI

“がんばる”が好き 第58回 国民体育大会

NEW!! わかふじ国体



◀遠藤若奈選手



▼小椋俊彦選手

感動いっぱい 緑の道場inはまきた



▲上野雅恵選手

◀藤田英臣選手

成年女子

10月26日(日)～27日(月)



総監督 七段
ノダ ショウイチ
野田 昭一
(静岡学園高教員)



総務 六段
スダ ナオユキ
須田 直之
(静岡商高教員)



トレーナー
ヤマモト トシハル
山本 利春
(国際武道大学)



トレーナー
セキ ケンイチ
関 賢一
(勝浦整形外科)



トレーナー
タチカ マリ
田近 真理
(勝浦整形外科)



トレーナー
ヒヤマ カオル
檜山 かおる
(国際武道大学)

半世紀に一度といわれる国体。郷土出身の遠藤、世界選手権二連覇の上野、地元浜北の武興に就職し静岡のためにとほりきる横溝選手。上野を中心にチーム・ワークの取れた試合にしたい。目標「優勝」



監督 七段
ネギヤ シンイチ
根木谷 信一
(沼津市立高教員)



コーチ 参段
ヌmano ユカリ
沼野 由香利
(藤枝順心高教員)



先鋒 参段 エンドウ ワカナ
遠藤 若奈 (秋山オート商会)
160cm 52kg 庵原高～国際武道大
48kg級国際強化選手 カナダ国際優勝
立ってよし寝てよし、チームの方向を決めてくれる。



中堅 参段 ウエノ マサエ
上野 雅恵 (三井住友海上火災浜松)
161cm 70kg 旭川南高
世界選手権70kg級二連覇
心身ともに絶好調、ポイントゲッターとして大活躍まちがいなし。



大将 初段 ヨコミゾ サナエ
横溝 早苗 (株武興)
169cm 137kg 北海道出身～拓大
世界ジュニア78kg超級3位
恵まれた体格の上に自主トレーニングにも意欲満々、前の試合の結果により戦法も変わる。

野田総監督

多くのみなさんの物心両面よりの支援を背にやるべきことはすべてやってきました。あとは、選手諸君達がベスト・コンディションで試合に臨み、持てる力を十二分に発揮してくれることを期待するばかりです。最後まで声援を送ってください。

組合せ表「成年女子」

都道府県名	10月26日(日)		10月27日(月)				10月28日(火)		都道府県名
	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦		
千葉県	1	III-9	I-4	II-8	III-3	III-6	II-11	9	埼玉県
石川県	2	III-9						10	愛知県
滋賀県	3	III-10	II-6	III-6	III-4	II-11	11	高知県	
山口県	4	III-10					12	秋田県	
静岡県	5	III-11	II-4	III-6	III-4	II-11	13	熊本県	
神奈川県	6	III-11					14	茨城県	
岩手県	7	III-12	3位決定戦	III-7	II-15	II-15	15	北海道	
大分県	8	III-12					16	兵庫県	

※ローマ字数字は試合場、○数字は、試合順序を示す。

堂々、天皇杯=皇后杯ともに四位 よくぞ闘えり!!静岡県チーム



少年男子チーム



少年女子チーム



成年女子チーム



成年男子チーム

順位・得点

男女総合(天皇杯)

第1位	埼玉県	130
第2位	神奈川県	77.5
第3位	東京都	75.5
第4位	静岡県	73.5
第5位	福岡県	60
第6位	茨城県	49
第7位	高知県	42.5
第8位	千葉県	35.5

女子総合(皇后杯)

第1位	埼玉県	55
第2位	茨城県	49
第3位	千葉県	35.5
第4位	静岡県	31
第5位	東京都	28
第6位	神奈川県	25
第7位	滋賀県	17.5
同	兵庫県	17.5
同	岡山県	17.5
同	山口県	17.5
同	高知県	17.5
同	福岡県	17.5
同	大分県	17.5

最高の成績を残せた喜び

総監督 野田 昭一

総合優勝はできなかったけれど、静岡県国体柔道史上最高の成績を残せたことでほっとしている。

特に成年女子準優勝、成年男子3位入賞の健闘ぶりは場内を沸かし、私自身も鳥肌の立つような感動を覚えた。

結果的には、惜敗に終わった少年女子も強敵を相手にさわやかに戦ってくれたし、少年男子の接戦の末の5位入賞も貴重な勝点となった。

終始選手と一体となって苦楽を共にしてくれた強化スタッフには心の底から感謝している。

浜北市民のみなさん、声援ありがとうございました。

会長をはじめ協会役員全員の後援がなければここまでやってこれなかったとつくづく思っている。

これを機に今後の競技力向上に大いに期待しています。

熱戦譜 I 少年男子 10月26日(日)

奇跡の内容勝ち

地元開催に向け、5年前から強化を図ってきたチームが本番を迎え、22日に浜北入りをして大会に備えた。大会1回戦目の富山県戦では1点差のシーソーゲームとなり、大将の藤田選手がインターハイのリベンジとばかりに果敢に攻めて優勢勝ちをし、奇跡ともいえる2-2の内容勝ちという逆転劇を演じてくれた。地元開催の優位性を背に気合いとともに試合の流れを変えてくれた。準々決勝では、優勝した神奈川県

少年男子監督 間宮 幸男
にも先鋒で引分けという流れを作ったものの、後半の失点が響き3-0で敗退。しかし、チームワークの勝利でベスト8を勝ち取ることができた。勝因を分析すれば宮本、渡部両コーチが選手とのコミュニケーションを密に取り、選手自身がコーチの考えを十分理解し、徹底できたことが先ずは上げられる。さらにチームには2年生が2人おり、来年にもつながる大会となったことを申し添えます。



▲藤田英臣選手



◀朝比奈竜真選手



▲増田龍二選手

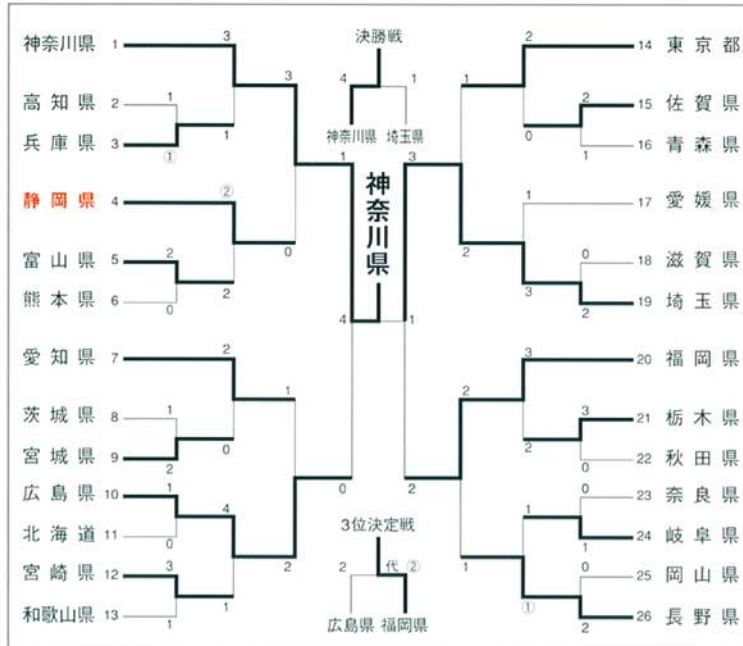


▲岡本宗政選手

▼真野洋光選手



【少年男子】優勝!! 神奈川・五位!! 静岡



▽二回戦

先	静岡	朝比奈竜真	②-2	富山	増田賢
次	静岡	真野洋光	優勢勝	富山	山本達浩
中	静岡	増田龍二	引分	富山	藤原慎
副	静岡	岡本宗政	優勢	富山	杉政達郎
大	静岡	藤田英臣	警告	富山	嶋山竜二

▽準々決勝

先	神奈川	笠井貴太	引分	静岡	朝比奈竜真
次	神奈川	大東正彦	崩上四方固	静岡	真野洋光
中	神奈川	野田貴寿	引分	静岡	増田龍二
副	神奈川	竹谷知記	一本背負	静岡	岡本宗政
大	神奈川	桶谷知生	横四方固	静岡	藤田英臣

熱戦譜Ⅱ 少年女子 10月26日(日)

▽一回戦

静岡 0-2 埼玉
 先 村松 香澄 内 股○ 三木 千尋
 中 松本 笑嘉 引 分 山崎 美貴
 大 岡田 紘味 優勢勝○ 加藤 有貴



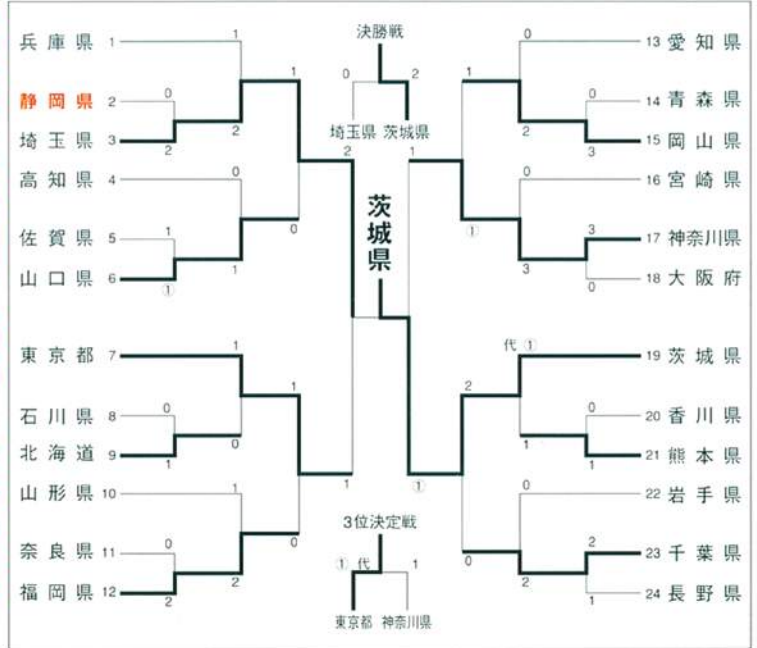
▲堂々の入場行進



▲松本笑嘉選手

▲岡田紘味選手

【少年女子】優勝〓茨城〓二位〓埼玉



勝負の厳しさを知る

少年女子監督 勝 呂 良 三

5年間の強化が一瞬にして終わってしまい、あらためて勝負の厳しさを思い知らされました。地元開催というプレッシャーの中で、選手はよく戦ってくれたと思います。応援して下さった協会・地元の方々、長い間ご協力くださった大勢の方々から感謝しています。また、それと同時に、結果が出せず、悲願であった総合優勝を逃す原因をつくってしまったことに対して、監督として責任を感じ、たいへん申し訳なく思っています。



審判員から見た静岡国体

佐々木 秀 男

静岡国体が強化・運営面等多くの方のご尽力により大成功を取めたことに対して、審判員を代表して敬意を表します。私ども県内選出の12名の審判員は、国体という栄えある舞台に立てることに大きな喜びを感じ、今日までの審判員としての技能の蓄積に加え、さらなる資質の向上に努めて参りました。

国体は大舞台だけにミスは許されないとの思いから、試合場上がる直前でも審判員同士で規定の確認をするなど、責任感と緊張感が伝わってきます。今回は講道館規定でしたが、国際規定に慣れた審判員は反則の取り方が早く、また技の判断も甘いように感じました。しかし、動作や発声、間の取り方等見習うべき点も多くあり参考になりました。

本県の審判員は全国大会の経験も豊富で、日頃の研修の成果も出て総じて良かったと思います。これも審判講習会等協会の企画が功を奏しているお陰であり、また試合のたびに審判員相互で評価し合う姿勢の表れだと思えます。今後は、県全体の審判技能向上のためにこの経験を生かす所存です。



▲静岡県審判団

熱戦譜Ⅲ 成年女子 10月26日(日)27日(月)

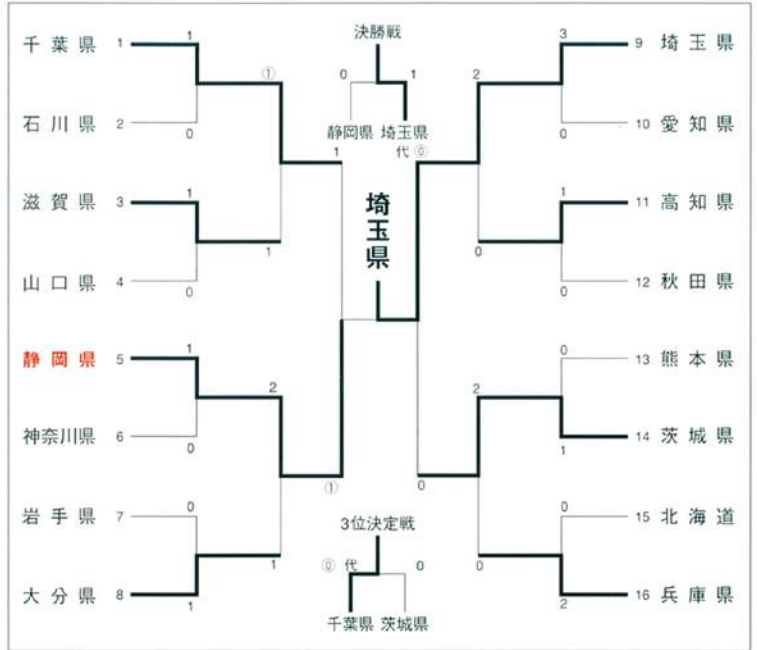
一つになって戦った忘れられない試合

成年女子 遠藤 若奈

私にとって国体出場は初めてで、地元ということもあり嬉しくもあり、責任を背負った試合でもありました。3人制の団体戦ということで絶対負けず、取られない柔道でチームのムードを良くして後に渡すようにすることが私の役目でした。合宿中も監督、コーチのアドバイスのもと、自分のペースの練習をさせてもらい、またスタッフの皆さんも私たち選手に協力してくれ、まとまったチームも出来上がり、いい調整も出来ました。試合当日も皆で「さあ！行くよ！！」と気合いを入れ、皆が一つになって他県と戦いました。結果を見ると準優勝で悔しい気持ちもありました。私がポイントを取っていれば…。でも、静岡県チームは成年・少年男女とも一つになっていました。こんないい環境で、しかも地元の国体。緊張もありましたが、地元の温かい声援を力に変え臨むことが出来ました。忘れられない、忘れることのない試合になりました。

本当にありがとうございました。

【成年女子】優勝〓埼玉・二位〓静岡



▶ 遠藤若奈選手



▶ 上野雅恵選手

▽一回戦

静岡	1-0	神奈川
先 遠藤 若奈	引分	松田 邦恵
中 上野 雅恵	○合せ技	七條 芳美
大 横溝 早苗	引分	駒木奈緒美

▽準々決勝戦

静岡	2-1	大分
先 遠藤 若奈	⊖優勢勝	伊福 涼子
中 上野 雅恵	○上四方固	森 静香
大 横溝 早苗	優勢勝	⊖清原 祥子

▽準決勝戦

千葉	1-①	静岡
先 君島奈津子	引分(内容)	遠藤 若奈
中 小吉奈緒美	袈裟固○	上野 雅恵
大 清水伊穂理	⊖優勢勝	横溝 早苗



▶ 横溝早苗選手

美辞麗句の通じない勝負の世界

成年女子監督 根木谷 信 一

成年女子の部、スタッフ9名は心肝を抜き、身骨を砕くことで「優勝」を目指しました。しかし「優勝」は逃しましたが、この体験は今後の生活に生かすべく心骨に刻することができました。

民泊・県民の皆様と柔道関係者各位のご支援ご声援に対し、スタッフを代表し心よりお礼申し上げます。

▽決勝戦

地元静岡は初めての決勝進出。ゴールドメダリスト上野を中軸に、優勝目指して燃えに燃える。対する埼玉は初優勝のチャンス。

遠藤 若奈 引分 三浦 真依
三浦しきりに足技を放ち、そのまま寝技に入らんとするも遠藤の防禦は固く、遠藤も攻めあぐねる内に膠着状態のまま時間切れ。

上野 雅恵 引分 古賀 幸恵
足に怪我をしてお出場の古賀、なんとしても引分けに持ちこまんと上野の引手を殺して防禦の態勢。上野は左右に揺さぶりをかけ、体落とし、内股、大内刈をねらうも決定打が出ないままついに時間。

横溝 早苗 崩袈裟固○ 江口 啓
江口はこの一戦になにがなんでも勝負を賭けんと、思い切っ前に出て払腰・大外刈を仕掛けてくるも、横溝の重圧を切り崩すことができない。横溝も負けずに再三再四大外刈にゆくも不十分、切り返えされてヒヤリとさせられる場面も幾度か。このまま引分に終わるかと思われた3分30秒過ぎ、寝技のもつれから一旦は横溝、縦四方固に入ったかにみえしも、肩を決められて逆転、江口崩袈裟固でがっちり抑え込んで、4分を過ぎること13秒、「一本」となり、ついに静岡は無念の準優勝に終わった。

熱戦譜Ⅳ 成年男子 10月27日(月)28日(火)

- その1 -



▲佐々木伸次朗選手

素晴らしいチーム・ワーク

成年男子監督 宇佐美 博之

皆様のご支援とご助言により作り上げてきたチームで、優勝だけを目指し試合に臨みましたが、残念ながら3位という成績でした。

静岡県成年チームとしては3度目、本大会メンバーについては、どの選手を見ても文句の付けようがない5人、心に引っかかるのは、「チームワーク」、その不安も2回戦目から気の抜けない対戦で、駒を進めてゆくごとにチームワークが出来てくるのを肌で感じ、準々決勝の代表戦で神奈川県に勝った時は、どこのチームにも負けない素晴らしいチームに出来上がっていました。

優勝は出来ませんでした、こんな素晴らしいチームの監督並びにコーチを務めさせて頂いたことに対し、会長を始め柔道協会の皆様にお礼を申し上げたいと思います。

▽二回戦

静岡	2-0	秋田
先 佐々木伸次朗	引 分	高橋 寿正
次 石川 美久	○袖釣込腰	荒平 佳也
中 瀧本 誠	○袖釣込腰	雑賀 俊行
副 大村 昌弘	引 分	有川 光誠
大 小椋 俊彦	引 分	寺田 裕志

▽三回戦

千葉	0-3	静岡
先 半澤 尚浩	背負投○	佐々木伸次朗
次 小室 宏二	引 分	石川 美久
中 新田 雅史	引 分	瀧本 誠
副 軒沢 優太	支釣込足○	大村 昌弘
大 三木 啓伍	合せ技○	小椋 俊彦

▽準々決勝

神奈川	1-①	静岡
先 佐藤 幸範	引 分	佐々木伸次朗
次 田中 秀昌	引 分	石川 美久

先鋒・次鋒とも動きの速い巧者同士の争いは結局は決定打なく、共に引分。

中 松本 勇治 引 分 瀧本 誠

静岡はポイント・ゲッター・ゴールド・メダリスト瀧本に先取点を託す。とはいえ名門神奈川の中軸松本もさる者、瀧本の再三・再四の内股も巧みに捌く。瀧本、小内、支釣込足さらには袖釣込腰と果敢に攻撃するも効果なく、逆に松本大腰にゆき、瀧本の体が浮けば満場より大歓声、時間切れとなる。

副 平澤 武夫 優勢勝○ 大村 昌弘

なんとしてもここを突破するには大村の負けじ魂に望みをつなげるしかない。しかも相手は巨漢平澤。大村の獅子奮迅の働きが始まる。平澤、大村の必殺の支釣込足を警戒して慎重な動き。さすれば大村は、背負投、袖釣込腰、はたまた左背負投と掛けまくる。防戦一方の平澤について「注意」貴重な先取点を上げれば、観客席から大歓声上がる。

大 増地 克之 ○優勢勝 小椋 俊彦

誰の目にも強豪増地に挑む小椋は、蛇に脱まれた蛙。一回りも二回りも大きい増地に引き付けられては防ぎようはなからう。しかし、郷土選手の誇りにかけて今日の小椋は一味ちがう。自らが仕掛けることで相手の掛けてくるタイミングを外す。再三・再四強引に引掛けてくる大外刈を懸命に防ぎ、逆に左大外刈を放せば満場の拍手。増地必殺の払釣込足に小椋辛じて腹ばいで逃れる。しかし、ついに「注意」を喫して同点となる。

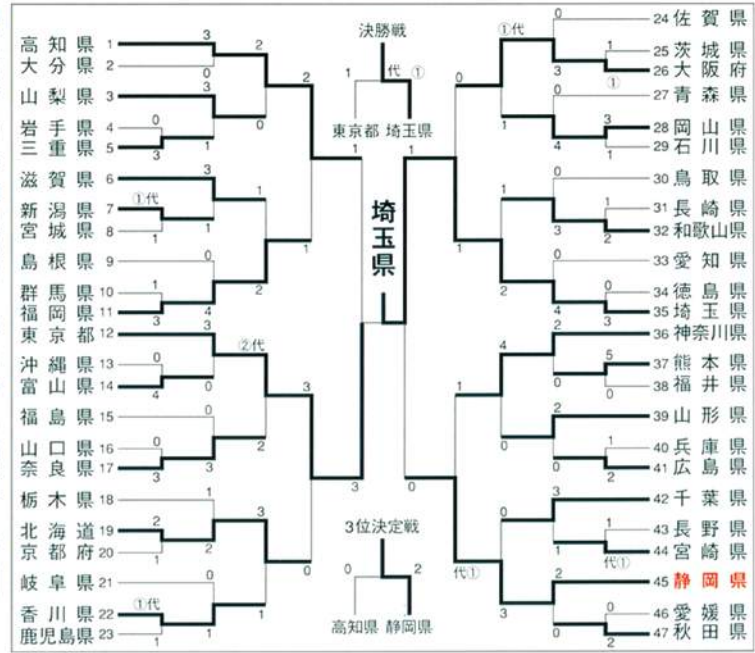
代表 松本 勇治 袖釣込腰○ 大村 昌弘

阿修羅のごとき大村の攻撃が始まる。得意技の内股はもちろん、小内刈、大内刈、出足払いに松本たまたまず横転する。背負投の連発で場内を湧かし、とどめは乾坤一擲の袖釣込腰に松本宙を舞う。やった、準決勝進出だ。



◀石川美久選手

【成年男子】優勝!! 埼玉・三位!! 静岡



熱戦譜Ⅳ 成年男子 10月28日(火)

— その 2 —

準決勝

埼玉 1-0 静岡
 先 清水 義光 引 分 佐々木伸次朗
 次 斉藤 順道 引 分 石川 義久
 中 野瀬 英豪 引 分 瀧本 誠

決勝進出のカギを握る実力者同士の一騎打ち。しかも両者内股の応酬。野瀬は寝技のチャンスを伺い、十字固にいかんとするもならず。瀧本も出足払、拘投さらには肩車に入らんと果敢に攻めるも効なく「引分」

副 生田 秀和 ○縦四方固 大村 昌弘

ここまで絶好調の両雄の対決。互いに譲らず、慎重にチャンスを伺えば両者に指導。2分過ぎ、大村意を決して攻めに入れど、自らの体勢崩れるところを、生田得たりと脇を掬い肩を極めて縦四方固に入れればさすがの大村も返すことなく無念の一本負け。

大 手塚 勝彦 引 分 小椋 俊彦

小椋懸命に大腰・小外刈と攻める。手塚も圧倒せんと内股・大外刈で攻め返すも決定打なく終了。静岡、ついに決勝進出の夢ならず。



▲瀧本誠選手

▽三位決定戦(最終戦)

高知 0-2 静岡
 先 伊藤 恭規 引 分 佐々木伸次朗

両者激しい組手争い。伊藤足を飛ばして背負投にゆくも佐々木捌いて、そのまま寝技の攻防、「待て」がかかる。伊藤指を痛めたかドクターを呼ぶも難なし。組手争いと寝技の攻防がつづく。1分17秒両者に指導。その後も接戦のまま、残り21秒両者に注意。引分けに終わる。

次 和泉 恵太 引 分 石川 美久

開始早々、石川攻撃を掛けるも和泉に返され、ヒヤリとさせられるもポイントなし。激しい組手争いから両者背負投・大内刈の応酬。隙あらば寝技へと引き込まんとするもいずれも効なく、接戦のまま「引分」。

中 廣川 充志 引 分 瀧本 誠

ポイント・ゲッター瀧本の動き如何。廣川は警戒して十分な組み手を与えない。廣川は足技・瀧本は内股を仕掛けるも引き手不十分で効なし。1分20秒両者に指導。さらに残り1分36秒両者とも「注意」。瀧本ついに攻め切れず「引分」。

副 中田 善久 優勢勝○ 大村 昌弘

静岡はここでなんとか先取したいところ。母校沼津学園高(現飛龍高)応援団の大声援を浴びて大村の気合い充分。対する中田も大村の足技・払腰を防ぐ態勢十分。1分45秒両者に指導。果敢に攻めつづける大村、中盤過ぎに好機到来、得意の払腰を放てば中田たまたま一回転、「技有り」。中田なんとしても一本は取られずと防禦に専心すれば残り45秒で「注意」を取られる。なおも大村攻めつづけるも時間切れ。

大 奥田 一孝 大外刈○ 小椋 俊彦

強敵との連戦で疲労困憊と思いきや、静岡学園出身の意地を見せんと巨漢奥田に堂々の挑戦。1分37秒全身全霊をこめての左大外刈みごとに決まって文字通り有終の美を飾る。満場の拍手はやまず。



▲大村昌弘選手

静岡の小椋ここにあり！

成年男子 小椋 俊彦

国体成年チームの大將には、矢寄選手が出場ということで、私自身は支援選手として国体に出場する予定でしたが、矢寄選手が大阪国際で負け、11月1日から始まるアジア大会に出場することになり、急速支援選手から正選手に抜擢されました。

地元開催、有力選手を揃えた静岡県成年チームでの大將としての位置等々、大きな不安材料ばかりでしたが、心の奥では大チャンス「よし！」という声が聞こえたような気がします。

試合成績は、2勝1敗2引き分け、十分な結果とはいえませんが一生懸命頑張ったつもりです。

この貴重な経験を生かし、「静岡の小椋 ここに有り」という気持ちで、これからも柔道に進む所存です。

最後になりましたが、大きなチャンスを頂いた高柳会長を始め、柔道協会の皆様方そして応援していただいた方々にお礼を申し上げ、挨拶としたいと思います。



▲小椋俊彦選手

常陸宮同妃両殿下で臨席のもとに

▶グリーンアリーナ正面



▲常陸宮同妃両殿下

「観衆の拍手に感動」

静岡国体にて、安齊悦雄八段と「古式の形」を行う榮譽を与えられた。大会の1年半くらい前から練習を開始した。県警教養課の道場にて、1週間に1~2回のペースであったが、汗を流した。お互いに忙しくて日程がとれず、練習できない時期もあった。2人とも個人的には各動作については理解し、出来るのだが、実際に合わせてみるとなかなか難しいものであった。昨年5月に静岡県武道館の落成式にて、他の武道の形とともに「古式の形」を演技した。ミスもなくでき自信を持ったが、国体は柔道

田中秀幸 七段

の専門家ばかりで、しかも大観衆の中で行うわけであり、より一層の練習の必要性を感じた。今年8月の講道館柔道夏期講習会第1部に2人で参加し、指導を受けて研鑽を深めた。大会当日演技の時がきた。1本目「体」、2本目「夢中」と進むなかで、各技が極まると観衆の拍手が聞こえたのには感動した。演技中はそれこそ無心で何も考えていなかったが、次へ次へと身体が動いた。無事21本が終了し、大きな拍手がたいへん嬉しかった。

投の形



▲(取)磯部正博 七段 (受)藤野公一 七段

古式の形



▲(取)安齊悦雄 八段 (受)田中秀幸 七段

僕も国体に出場したい

杉原正洋 (浜北北中 中3)

静岡県選手が出るたびに観客からはものすごい拍手と歓声が会場に響き渡る中行われた「わかふじ国体」では、各都道府県代表選手の試合もハイレベルでなかなか見られるものではなく、とても勉強になりました。静岡県代表の大村選手と小椋選手の活躍も目立っていて応援にも熱が入りました。

自分もあの大歓声の中で試合をしてみたいと思い、高校生になったら絶対国体に出ると強く心に決めました。

3日間という短い間でしたけど、とても充実していて勉強になった国体でした。

早い動き、力強さ、礼儀正しさ!!

手塚徹子 (65歳)

浜北市で国体柔道競技が開催されると聞き、新しくできた浜北市総合体育館(グリーンアリーナ)へ出かけて行きました。

初めて柔道の試合を見ました。早い動き、力強さ、礼儀正しさ、感動しました。

▶小学生の金管バンド演奏



▶チビッコの和太鼓



浜北市民のみなさまありがとう

民泊を終えて(その1)

柴田 小夜子

「民泊された4日間よりも、来るまでが長かった」
そんな国民民泊でした。

来るまでの準備期間は部屋の模様替えや大掃除で忙しい毎日でした。しかし、来てしまえば、皆さん気を遣うこともなく接することができる人たちで、静岡と山口のお互いの名産品や名所を紹介し合ったりと楽しい時間を過ごすことができました。



柴田さん宅は山口県
成年女子3選手と監督・
コーチ4人が宿泊

柴田 ^{みつる} 満さん (82歳)
小夜子 ^{さよこ} さん (66歳)
信夫 ^{のぶお} さん (40歳)
素女枝 ^{そめえ} さん (39歳)
麻帆 ^{まほ} さん (12歳) です



民泊を終えて(その2)

森本 宣子

我が家に民泊したのは、滋賀県の少年男子の5名の選手たちでした。我が家は主人と私、そして小学1. 3. 4年生の息子の5人家族です。彼達と息子達はすぐに仲良くなりました。柔道の技をかけてもらったり、プロレスごっこをしたりしていました。

2泊3日と少し短い滞在でしたので、夕食を我が家で食べたのが一度きりでした。でも試合を終えての夕食でしたので、彼達もくつろいでその日の夕食のメインのハンバーグをいっしょに作ってくれる程でした。そしてその日の夜は、息子達も彼達といっしょの部屋でいっしょのふとんで寝ていました。

彼達の手足の大きさ、背の高さ、体格と、何もかも大きいのも同じくらい心も温かく、やさしかったことがとても印象に残っています。今も我が家の電話には彼達とのメール交換が続いています。それがずっと続き、またいつかゆっくり会えるのを今は楽しみにしています。



森本さん宅には滋賀県
少年男子5選手が宿泊

森本 ^{じん} 淳さん (36歳)
宣子 ^{のりこ} さん (36歳)
燎平君 ^{りょうへい} (10歳)
憂士君 ^{ゆうじ} (8歳)
勸太君 ^{かんた} (7歳)



その心意気そして温もり

NEW!!わかふじ国体を終えて

本田 寿美子

緑の町浜北で国体が開催されると聞き、素晴らしいことだと思い何か私にもお手伝いが出来ればと思い、浜北柔道スポーツ少年団育成会 豚汁給仕担当として参加させていただくことになりました。この大会にあたって豚汁と鳥肉のつみれ、ダンゴ汁7,000食用意され、1日目3,000食、2日目2,500食、3日目1,500食給仕しました。これだけ多く作っていただいた方々の為にも、お客様に粗相のないように喜んでいただこうと思い明るく笑顔で接しなければいけないと思い、一人一人に「熱いですから気をつけて下さいね。沢山ありますからおかわりして下さいね」と自然に声が出ていました。豚汁を食べ終

わった方が側に寄って来て「美味しかったよ。おかわりしてもいいですか」と言って下さった時には、私はとても嬉しく思い、お手伝いして良かったと思いました。

全国の人々が浜北に集まり、良い思い出を持ち帰っていただいたことと思います。大勢の人達の協力のもとで国体が盛大にできたことはとても素晴らしいことだと思いました。

他県の方々は皆優しく温かな人達ばかりで、嬉しく思いました。また機会がありましたらお手伝いさせていただきたいと思いました。



“市民の声”

3日間、接待係として参加させていただきましたが、とにかく初めてのことで、どんな感じなのか想像もできませんでした。

初日は、日曜日ということもあって、とにかく人が多く、豚汁サービス開始とともに長蛇の列ができ、運ばれてくる豚汁もあつという間になくなってしまい、次の豚汁が到着するまでの間、しばらくお待ちいただくという状態でした。この日は、3,000食の予定と聞いていましたが実際には3,800食あったようで、予想以上に忙しく、とにかく必死でした。しかし、そんな忙しい中でも、お客様とも会話でき、「とてもおいしいからおかわりしてもいいですか?」とおかわりに来てくれる人がいたり、「あちこち国体の会場を回っているけど、こんなにサービスがいいところは初めてですよ」など、うれしい声も聞きました。また、来年度開催地の埼玉県上尾市から視察に来られた方からは、「豚汁はどこで作っているのか。何食ぐらい用意しているのか」などの質問もされ、「来年の参考にします」と言っておられました。

2日目はだんご汁でしたが、こちらも好評で「だんご汁は浜北の名物なんですか?」と聞かれるお客様もいまし

た。初日に比べると人も少なく、自分自身が仕事に慣れたこともあり、初日のような忙しさは感じませんでした。それでも次のだんご汁が到着するまでお待ちいただくこともあり、初日より全体の量も減っていたため、食べられなかった人も多かったと思います。3日目は、また、豚汁でした。この日は天気も心配されましたが、全体の量も少なかったため、あつという間になくなり、接待係の仕事も早く終了しました。

2日目と3日目は私たちもお弁当の時に、少しずつ食べさせていただきましたが、豚汁もだんご汁もとてもおいしかったです。特に豚汁はとても具たくさんだったので、これだけでおなかが一杯になるので、お客様にもとてもよろこんでいただけたと思います。

私たち接待係も忙しく大変でしたが、3日間、浜名公民館で作ってくださった方は、もっと大変だったと思います。

3日間とても忙しくあつという間に過ぎましたが、いろいろな人達と触れ合うことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。このような形で国体に参加できたことを本当にうれしく思います。

木下 美喜子

この団結力をもって新たなる前進を!!



競技役員雑感

総務係副主任 宮崎 貞夫

静岡国体柔道競技は大成功だったと思う。高柳静岡県柔道協会会長、長谷川浜北市長を初め、柔道協会・浜北市・浜北市民の総力結集の成果だと思う。しかし、柔道協会としては伊藤武治総務主任（浜北西高校教諭）の活躍を忘れることはできない。

伊藤さんは昨年度から浜北市の実行委員会に出向していた。特に今年度は週3日実行委員会に勤務し、まさに柔道協会と浜北市の繋ぎ役であった。

大会前日から大会終了まで座っているところを見たことがなかった。インカムで常に誰かに呼び出されていた。『困ったことは伊藤さんに聞く』これが大会競技役員の法則だった。浜北市実行委員会の石川さんと二人であらゆるところに出没し、多くの問題点を手際よく解決していった。大会前日の全柔連からの注文に対してもすばやく対応策を考え出した。さすがに大会後半は本部の前で立っている姿を時々確認することができたが、落ち着いて試合を見ることはできなかったと思う。

連日帰宅するのは深夜であり、大会期間中昼食も満足に食べられなかったという。4日間で5kg痩せたそうで、文字どおり身を削ってがんばってくれた伊藤さんでした。

もちろん運営の成功は、競技役員全員が一体となってがんばったからだと思う。全柔連の高石先生から打合せの席で言われた言葉が印象に残っている。「旗を上げる腕がまっすぐで素晴らしい。」慣れない時計を操作しながら旗を上げるのは大変だったと思う。また、「前日指摘した問題点がすべて対応できている。」大会2日間に誉められた。

もちろん、浜北市の関係者の皆さんや、多くのボランティアの方々を始め浜北市民の皆さんの協力があってこそ大会が成功したことは言うまでもない。連日、地元の老若男女で埋めつくされた満員のスタンドには感激しました。

無事大会を終え、今は満足感でいっぱいである。国民体育大会を運営するという素晴らしい経験をさせていただき本当にありがとうございました。



▲閉会宣言をする
安齊悦雄副委員長

